

グラウンドだった園庭を、 土壤改良・樹木の植栽によって樹林化

2020. 2. 15

森と自然を活用した保育・幼児教育を考えるシンポジウム
事例報告①

関西学院幼稚園 鑄物太朗

関西学院幼稚園
創立129周年
宣教師N.Bゲーンス

Since1891

聖和大学附属聖和幼稚園 1950年～



関西学院聖和幼稚園 2009年～



関西学院幼稚園 2013年～ 現在に至る

3つの教育方針

- ・子ども一人ひとりが、イエス・キリストによって示された神様の愛に気付き、自らがかけがえのない存在であることを知り、喜びと感謝をもって過ごす。
- ・お互いの個性や多様性を認め合い、自主性、創造性を発揮して共に育ち合う。
- ・神様の創造された自然の中で心と体を存分に使って遊び、健康的な心身を育み、豊かな感性を培う。

1980年代半ば
近隣の宅地造成が盛んになり、園の周りの自然が急激に減少。
→子どもが集団で群れて自然の中で遊ぶ姿も激減。



1980年代の園庭



園庭の自然を植物から見直す

1989年当初

ブランコ、ジャングルジム、すべり台などの固定遊具

草を生やさないグラウンド状の地面を保持するため、
石灰を大量に撒き、転圧までされていた。

土を肥沃にする土壤改良が必要である…

子どもと種を撒こう

- ・シロツメクサ、アカツメクサの種を撒く

根粒バクテリア(根粒菌)が窒素を抱き込み、土壤を肥沃にしてくれる。



樹木を植えよう

- ・パイオニア植物と言われているハンノキ・ヤマモモ

根っこに放線菌を持ち、土壤が肥沃でなくてもいち早く育ち、土壤を肥やしてくれる。

- ・クヌギ、コナラ、マテバシイなどのどんぐりのなる木
- ・ビワ・カキ・ザクロ・キンカン・ヤマグワ・グミ・
ヒメリングなどの果樹

草本類を植えよう

子どもたちが自由に触れて遊べる草本類

- ・オオオナモミ
 - ・ヨウシュヤマゴボウ
 - ・イノコズチ
 - ・ヌスピトハギ
 - ・アメリカセンダングサ
 - ・オオバコ
 - ・ジュズダマ
- など

ハーブを植えよう

・大いに五感を使って植物遊びができるように様々なハーブを植えた。

A群 アップルミント・ペパーミント・ラベンダー・セージ

B群 カモミール・タイム・カレープラント・バジル



築山と3つの小屋を中心とした遊び場へ

遊びに幅を持たせるため、あえてシンプルな小屋に築山を作り起伏を(毎年土嚢袋で補修をしている)



子どもの動線と植物環境を区別する

レンガを並べる、植木鉢を裏返して並べる
→植物環境の確保

レンガをめくると…
→生き物の生息場所に



様々な虫との出会い



様々な虫との出会い



様々な虫との出会い



様々な虫との出会い



継続した土壤改良

落葉を集め、遊びながら耕す



30年の変化



30年の変化



いくつかの課題

- 高木の成長につれて草花が育ちにくくなつた
- 子どもと自然を結ぶ保育者の確保
- 蚊がとんでもなく多い
- 池・川の環境の充実

持続可能な遊び環境づくりは続く



ご清聴ありがとうございました